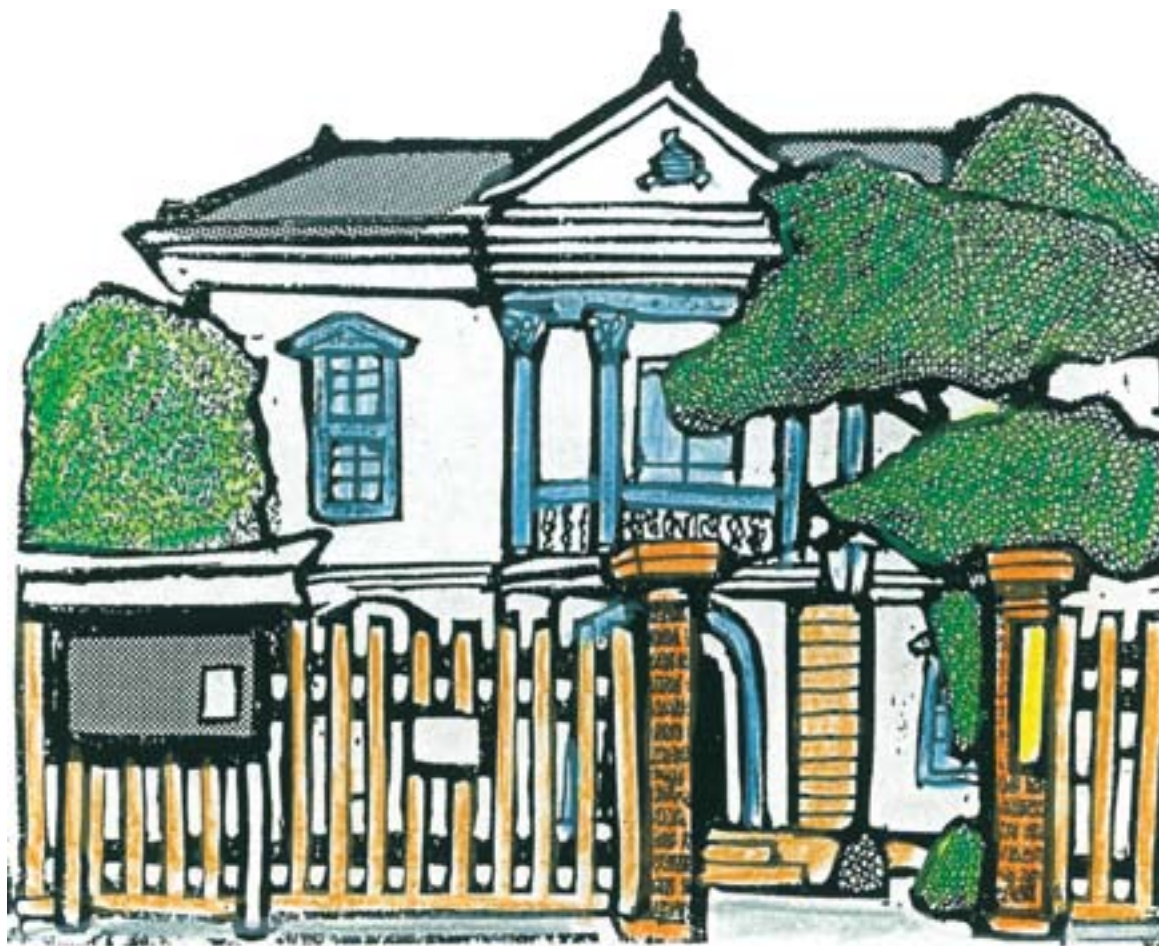


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570



版画 田中 一郎
旧本庄警察署 (現本庄市歴史資料館)

大事
今を
に

Contents

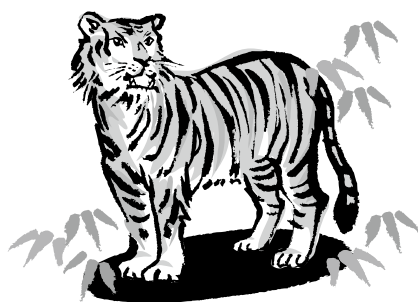
ガバナーメッセージ	2	秩父祭世界無形文化遺産推進部会発会式	
入会3年未満 会員研修 特集	3	入間ロータリークラブ 50 周年	11
「入会3年未満会員研修会」報告 特別基調講演 研修会に参加して 「入会3年未満会員研修会」 のための講師研修		「高校生感動体験プログラム事業」 実施状況報告と次年度に向けて	
ガバナー公式訪問報告	7	第5・2グループⅠ・M開催	12
米山カウンセラー研修会報告	10	第三回諮問委員会開催	13
		表彰・新入会員の紹介・今月の表紙 ..	14
		1月・2月のスケジュール・文庫通信	15
		11 月度 出席及び会員数報告	16

国際ロータリー第2570地区
2009-10年度ガバナー
加藤 玄静

ガバナー事務所
〒367-0041 埼玉県本庄市駅南2-2-1 埼玉グランドホテル本庄2F
TEL:0495-22-8035 FAX:0495-22-8036
E-mail: info2009@mail.rid2570.gr.jp

1

2010.1.1



～今を大事に～

ロータリーを理解してもらおう

ガバナー 加藤 玄静

平成22年「寅年」を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

平成22年は寅年であり、十二支では「虎」があてられておりますが、日本には生息していません。アジア特産の猛獣で、雄虎は体長3メートル・体重は300キロに達する程であります。

日本人は古くから関わりが深く、「日本書紀」や「今昔物語」の中にも記述されておるように、虎の存在を早くから知っていたようであります。

ロータリアンにも多くの年男がいらっしゃる事でしょうが、**經典では「我が身を捨てる、慈悲の行為」**を持つとされています。ロータリーでは「**まず他人のことを考える、思いやりの心**」とでも置き換えられるでしょう。

「虎」のつく代表的な諺を列記しますので、意味を考えてみて下さい。

- ・ 虎は死して皮を残し、人は死して名を残す……美名を残すような心がけ
- ・ 虎は千里を行って千里を帰る……子を思う親心のたとえ
- ・ 虎穴に入らずんば虎子を得ず……危険を承知しても冒険をする

特に現代社会を風刺するものとして、「**虎・狼より、人の口恐ろし**」があります。この意味は、「虎や狼」は恐ろしいが、もっと恐ろしいのは人の口であり、悪口を撒き散らす人の口を指しております。今では、ネットに溢れる匿名の中傷が恐ろしい程あるそうですが、嫌な世相ではありませんか。

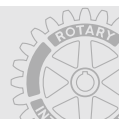
ここで前回の寅年、平成10年を思い出して下さい。北朝鮮のミサイルが三陸沖に着弾、参議院選挙で自民党惨敗、日本長銀が経営破綻。前々回、昭和61年は、伊豆大島・三原山大噴火、バブル景気の始まり、天皇在位60年記念式典開催。昭和49年は、田中角栄金脈事件、狂乱物価、戦後初のマイナス成長等であります。

本年も、政治経済での不安・不況・初のデフレが予想されますが、ロータリーを取り巻く環境も大変厳しいものに成る事は間違い有りません。今月1月は「**ロータリー理解月間**」であり、「**ロータリーの公共的イメージを高める**」のに理想的な機会です。今こそロータリアンの智慧を結集して、「**地域から世界に貢献する、新しいロータリー**」活動を目指すために、ロータリーの人道的主義の使命について理解を広げようではありませんか。

入会3年未満 会員研修 特集

入会3年未満会員研修会によせて

地区研修リーダー 石川 嘉彦 (入間 RC)



本日は第2770地区パストガバナー RI研修リーダー 中村靖治様をお迎えしての研修会です。

入会3年未満会員という言葉はあまり好きではありません。大学1年生を英語ではフレッシュマンといいます。大学は4年で卒業ですがロータリーには卒業はありませんから入会3年くらいまでをフレッシュ・ロータリアンと言いたいです。

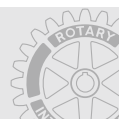
今までフレッシュ・ロータリアンをあまり大切にしなかったのでクラブ活動が停滞してしまう例も多々ありました。

今日の研修会はRLI Rotary Leadership Institute (ロータリー・リーダーシップ・研究会) の手法で行われることになります。RLIについてはここでは触れませんが今日の研修会の目的は共に「考え」「話し」「分かち合う」という事です。即ち参加者のフレッシュ・ロータリアンは各自で議題について考察し、討論し、グループ全体にアイデアを分かち合うのです。

今日の研修会は皆様の印象に残る貴重な体験になることを確信しております。

「入会3年未満会員研修会」報告

地区研修委員長 浅田 進 (本庄南 RC)



研修会(11月16日開催)の目的は、受講者が「研修を通じてロータリーを理解し、より身近に感じ、ロータリーが好きになり、積極的に活動に参画してロータリーライフを楽しめるようになってもらうため、ロータリーの基本的な知識習得の必要性を認識し自ら気付かせる」としました。

研修は、従来の一方向的に長時間聞かされる講義方式では、大人には寧ろ苦痛であり成果は望めないと憂慮し、研修方式を受講者の発言を中心に講師(ディスカッション・リーダー略DL)のリードによるグループ討議方式としました。

この方式は、受講者を10~15名程度の班編成とし、班単位で研修室を移動し、各部門(以下セッション)DLのリードの下50分間で質問事項について受講者に発言させ、討議を通じて理解を深めさせる方式で、参加者が自ら考え、理解を深め、モチベーションを高めることが成果として期待されます。

しかし、研修の成果は受講者が活発に発言できる雰囲気醸成するDLの技量に左右されるので、事前にDL研修会を開催し準備を整えました。

開講式に続いて2770地区中村靖治パストガバナーに感銘深い基調講演を頂き、研修の進め方の簡単な説明、昼食後からセッションを始めました。

セッション終了後10分間で次室へ移動と休憩、加えて緊張感の持続と気分転換も目的でした。都合3時間で3セッションを実施できました。

初めての試みで多少不安もありましたが、終了後の受講者の評価は概ね好評で満足して貰ったと感じております。感想の一部では、・班編成で3時限共に語り合い「知り合いになれた」「チームワークで行動できた」・意見交換方式に不慣れで戸惑った・事前説明だけでは理解できず戸惑った・講師(DL)の訓練不足・次回開催要請が多かった。

反省として・開催日の検討・設問が適当だったか検証が必要・DLの研修方式に対する理解不足・DLの「期待する効果」への理解不足、等々が今後の課題でDL訓練を含めて研究を重ねる必要を感じました。

特別基調講演

2770 地区パストガバナー 中村 靖治 (吉川 RC)



講師プロフィール

生年月日：1944年8月8日 宮崎県出身

略歴：

1969年 法政大学社会学部卒業

1969年 (株)アイグラット勤務 取締役

1993年 (株)サイドウオーク設立 代表取締役

ロータリー歴：

1979年度 吉川ロータリークラブ 入会

1991-92年度 吉川ロータリークラブ会長 (21代)

1995-96年度 吉川イブニングロータリークラブ初代会長

2004-05年度 第6グループガバナー補佐

2005-06年度 地区クラブ奉仕部門委員長

2007-08年度 ガバナー

【ロータリー財団／米山記念奨学会】

ロータリー財団 大口寄付者：遺贈友の会

米山功労者 (10) メジャードナー

ロータリアンとして持とう「志と誇り」

「二度とない人生だから 一輪の花にも 無限の愛を そそいでいこう」

一羽の鳥の声にも 無心の耳を かたむけていこう」

詩人・坂村真民

第2570地区の新会員の皆様、おはようございます。

本日は私が常日頃、ロータリアンとして尊敬申し上げています、加藤玄静ガバナー、浅田進研修委員長にお招き頂きまして、皆様とお会いできましたことを心から感謝申し上げます。

また、この研修会に第2570地区研修リーダーとして同期のガバナーの石川嘉彦PDGがご参加頂いて心強いばかりです。

私がこの研修会に参加させて頂いて、新会員の皆様に述べたい事は、まずは「ロータリーにご入会を頂きありがとうございます」という感謝の気持ちであります。

何故ならば、最近の、先の見えない不透明な経済の中、少なくとも

「世の為、人の為、何か良いことをしよう」

という、ロータリークラブに御入会を頂いたことであります。私達ロータリアンの奉仕活動に関する基本的な考え方は

「自らの職業を通して社会に貢献する職業奉仕活動です。」

昨今、ロータリーには広報活動が重点項目として取り上げられるようになりましたが、ロータリアンが地域社会に貢献する姿が反映すればするほど、このこと自体がrippana広報活動であるということを私達は認識しなくてはなりません。

「I Serve」これが基本的な私達のとるべき行動だと思います。

そして、個人では成し得ない活動はクラブで行い、クラブで成し得ない活動は地区で、地区を超えてのプロジェクトは国際ロータリーが主体になり、実践活動をして参りますのが現在ロータリー活動の姿であります。ここに、ある地区でロータリークラブに入会することのメリットを発表しました。新会員の方にも解りやすく、また目標にもなりますので一緒に考えてみましょう。

ロータリークラブに入会することへのメリット 5項目

1、ロータリアンは長生きをする

健康の要素として栄養、運動、睡眠が説かれますが、これに加えて、心のやすらぎが肝要と思います。ロータリーに入り多くの善良な友人と交わり、その友人達から感化されて得る心のゆとりや精神のやすらぎは、必ず健康に資するものと確信いたします。

2、人前で話すことに習熟する

多くの人の前で、話をするのは億劫なものですが入会の挨拶から始まって、色々な機会に話をする事が多く、良い意味での話上手になることは他人に好感を与え、自分自身も世の中が楽しくなります。

3、国際的な感覚が身につく

ロータリーは本来国際的なものですから、各種行事を通じて今まで知らなかった国際感覚が身に付きます。

4、リーダーシップが豊かになる

委員長始め会長、幹事その他の役を経験することにより、リーダーシップが身につき行動力が勝れるようになります。

5、思いやりの深い人になる

ロータリーの標語『超我の奉仕』が説く他人を思いやるロータリー精神が、友人からの感化や例会場での錬成により次第に身につき行動に移すことができるようになります。

以上の5項目ですが、これを身につけるに大切なことがあります。それは、クラブの例会に出席することです。「例会は人生の道場である」と私達は教えられてきました。

「Enter to learn go forth to serve」「入りて学び、出でて奉仕せよ」

善意あるロータリアンとの出会いが自らの品性を高め、さまざまな情報を得ることにより、幅広い知識を得ることに繋がります。

冒頭に「志と誇り」と書かせて頂きましたが、私達にとって最高の喜びは自分が他の人方にお役に立つことが出来るということ、そして、自分の存在が他の人の喜びに繋がるということを知ることだと思います。

幸い我々はロータリアンとして人様のお役に立つ機会に恵まれています。人間生きて、最後に残すものは「どれだけ集めたか」ではなく「どれだけ与えたか」ではないでしょうか。出会いに感動し、人様の心に出会いの感動を残すことが生きる喜びであり、生きた証でもあります。本日の研修もロータリアンとしての大切な出会いです。

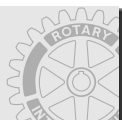
ロータリアンとして「奉仕の理想」を掲げ、我々の理想的な奉仕活動は何かを常に探究しながら不変の志を胸に秘めて、誇りをもってロータリー活動に邁進することが私達の目標であり、責務でもあります。「お金を失っても何も失ったことにはならない、勇気を失うことは多くを失うことである。しかし、誇りを失うことはすべてを失うことである。」とある人は言いました。

「永遠の友情と限りない奉仕の心」を胸に秘めて、本日は熱意あるロータリアンとして一日、加藤玄静ガバナーのもと、ご一緒に勉強して参りましょう！！



研修会に参加して

横山 明美 (鶴ヶ島 RC)



ロータリーに入会 (2009.9.1) して間もない私にとって、ロータリーのドアは重厚で開けることができず、チャイムは手の届かない場所にありました。

しかし、この研修会は加藤ガバナーを始め多くの方々によって開かれたドアから、私たちは招待を受けたようでした。

今回は、講演者からの一方通行ではなく参加者が自ら考え、発言してお互いに議論をするという画期的なものでした。

この方法はお互いを理解し合うのに、とても良い方法だと思います。

各グループの人数も適切で、3時限終了時にはお互いの友好関係も深まり、もっと多くの方々と議論や情報交換を行いたいと思いました。

次回開催もあると伺い、その日を楽しみにしています。

最後に企画してくださった多くの皆様に深く感謝いたします。

研修会に参加して

村田 貴紀 (本庄南 RC)



ガバナーと研修リーダーの研修目的説明。中村パストガバナーの基調講演ではポール・ハリスの創設の精神や米山梅吉の創設の精神、社会に貢献するボランティア組織として高い評価を受けている事を伺った。考えていた事と

少々ズレを感じた部分もあったが、社会貢献と親睦の大切さを改めて感じた。

午後班に分かれて各部門の討議。順番に意見を述べ、その後受講者間での応酬が行われたが「分かりません」で議論にならず終る事が多いように感じた。討議は参加者が意見や情報の交換や問題を解決したりする協力型の議論の形態なのだが、事前の基礎勉強の足りなさを痛感した。

研修を終えて少しは理解できたが、それ以上に「言葉では表せない惹きつけるロータリーの魅力」を感じ取った。解らない事ばかりで活動に消極的だが、今後勉強をして理解を深めるよう努力しなければと思った。

「入会3年未満会員研修会」のための講師研修

地区研修委員長 浅田 進 (本庄南 RC)



加藤ガバナー方針である「クラブへの支援」の一環として、「入会3年未満会員」の研修を地区で実施する事になった。

研修は通常一方通行の講義方式だが、長時間に亘ると受講者の緊張が緩み、期待した成果が得られ難い。受講者の発言を中心に進める方式を検討し、RLIグループ討議方式を採用する事とした。

異なる意見間で闘わず討議方式は我々には寧ろ苦手で、しかも経験の浅い会員を相手に研修を成功させるには、専ら講師の技量と情熱に懸ってしまう。

その為、研修の進め方についての知識や技術、受講者に気楽に発言させる雰囲気作りの心得等々の習得が必須と考え、開催前に予め講師の為の研修を実施した。

研修の目的は、参加者が自ら考え、理解を深め、モチベーションを高め、気付かせる事とした。

この方式では主役は講師であり、講師の役目は「教えるのではなく目的に沿うようリードする」、即ち50分間で「・質問し・発言を促し・質問事項から逸れる発言は修正し・課題への理解が深まるよう内容を解説し・まとめる」とした。

RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会) は、ロータリーの知識と指導力を伸ばすための研修方法です。RLI 指定課題ごとに質問事項を検討準備し、講師『DL (ディスカッション・リーダー)』のリードのもと受講者10~15名前後が円卓会議方式で意見交換、討議を通じてセッション全体を理解する方式です。パート I から IV と順に課題や質問事項が高度になり、より高度な知識と見識を獲得できる方式です。



2009 - 10 年度

ガバナー公式訪問 報告

今を大事に

所沢西ロータリークラブ

会長 本橋 正夫／幹事 山田 富男

11月6日（金）加藤玄静ガバナー、佐藤ガバナー補佐、随行の本庄ロータリークラブ 田中 克会長、今泉 憲治幹事の4名をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

まず、3年未満の会員との懇談会でガバナーよりロータリークラブに入会の動機等聞かれ、その後、ガバナーよりロータリーの基盤となるお話をいただきました。

例会では、加藤ガバナーから講話をいただき、クラブ協議会に移りました。クラブ管理運営委員会、会員増強委員会、奉仕プロジェクト委員会、財団・米山委員会、25周年実行委員会、会場監督と報告があり、途中、佐藤ガバナー補佐よりきめ細かく、ソ

フトにコメントを、最後に加藤ガバナーより総評をいただきました。無事に予定通り14:50分に終了となり、大変有意義な1日となりました。

加藤ガバナー及び佐藤ガバナー補佐誠にありがとうございました。



2009. 11. 6

熊谷西ロータリークラブ

会長 田代 充雄／幹事 村山 廣道

11月9日（月）加藤ガバナー、細井ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催させていただきました。

午前中は会長、幹事、3年未満の新入会員との懇談。昼食後、例会での卓話、クラブ協議会そして懇親会。朝から夕刻までガバナーのお話を聞かせていただきました。

ロータリーについての研修を超えて、人生をいかに生きるかについての貴重なお話であったと感じております。ガバナーが『還暦を迎えたとき、自分のモットーは「今を大事に」として、残された人生を「今に向き合って、精一杯生きる」決心を固めました。』と話されたのを聞きし、又、丸一日精力的

に我々会員の意見を聞き、質問に答える姿を拝見し感銘を受けました。

ガバナーが実践している「今を大事に」を会員はより深く理解し、心を捉えたと思います。

大変充実した公式訪問の1日でした。

ありがとうございました。



2009. 11. 9

児玉ロータリークラブ

会長 倉林 敏澄／幹事 阿部 博

ガバナー公式訪問例会が11月10日（火）加藤玄静ガバナー、武田哲ガバナー補佐、本庄RC三宅健吉SAAチーフ、笠原勝広報委員をお迎えして行われました。

午前11時より、会長・幹事・会長エレクト・入会3年未満（対象者1名：山下政信）の会員との懇談会が行われ、当クラブの現況やCLPの導入についての基本的な考え方について、加藤ガバナーよりご質問を頂きました。また新入会員に対しては、入会時の動機、経緯等を尋ねられた後、新入会員に対して顧問（指導者）を配置して、ロータリーをより深く理解してもらうよう努めることが、クラブとして大切とご指導を頂き、大変有意義な懇談会でした。



2009. 11. 10

昼食後12時30分より開始した例会では、ガバナーより地区の歴史を背景に、現在地区としての課題等にも触れられ、21世紀に生き残るためのクラブ支援、職業奉仕の充実等について拝聴しました。

例会後、クラブ協議会が行われ、吉田英一クラブ

奉仕委員長、春山良夫職業奉仕委員長、大野育男社会奉仕委員長代理、中林佑国際奉仕委員長より、今年度の各委員会の事業計画の説明及び報告がなされ、各委員が発表の都度、武田ガバナー補佐には丁重に講評を頂きました。加藤ガバナーからはクラブの維

持、強化に有効である事例や、退会者の再入会について取り組むことも重要ですよとの確かな総評を頂き、充実したクラブ協議会となりました。

今日を基に魅力あるクラブ活動作りに邁進して行く所存です。

新座こぶしロータリークラブ

会長 永井 彥男／幹事 小松 とし子

11月11日（水）に当クラブ例会場ベルセゾンにおいて、第2570地区の加藤玄静ガバナーに公式訪問して頂きました。

午前10時過ぎ、ガバナーが来訪され、お迎えの会員がまだ揃わないうちに会場に到着され、大変驚かせられました。しばらくティールームで雑談し、11時より、2F会議室で、加藤ガバナー、西川ガバナー補佐、当クラブ会長、幹事、3年未満会員2名を交えて、ロータリークラブの説明及び会員としての心構えについて、親切丁寧にお話して頂きました。午後に入り、クラブ協議会では13名の委員長が3～5分かけ、方針・活動について述べ、その都度、ガ

バナー補佐の心のこもった寸評を頂き、最後にはガバナーより、暖かい講評を頂きました。

5時間にも及ぶ公式訪問においてご指導賜りました。誠に有難うございました。



2009. 11. 11

東松山ロータリークラブ

会長 江野 祐一郎／幹事 杉田 光夫

小川ロータリークラブ

会長 松矢 紀吉／幹事 柴 修二

東松山むさしロータリークラブ

会長 関口 和裕／幹事 柳下 武司

東松山RC・東松山むさしRC・小川RCの3C合同による、ガバナー公式訪問が11月12日（木）小川町リリックに、加藤玄静ガバナーをお迎えして行われました。

午前11時より、3年未満の会員と各クラブ会長・幹事に西澤ガバナー補佐が加わり、懇談会が始まり、ガバナーよりCLP・DLPの説明がされ、又入会の動機を新会員に聞くなど、1時間がとても短く感じました。その後、ガバナーの卓

話を頂きました。

その中で、人は必ず誰かの世話になる（棺の釘は自分で打てない）という話とか、商人の会員が少ない等、最近のロータリーの現状をお話頂きました。

クラブ協議会に移り、3クラブより5名と6名の発表をコーヒータ임을挟み乍ら行い、西澤孝夫ガバナー補佐から講評があり、合同総評を加藤玄静ガバナーより頂きました。

4時30分より懇親会を開きましたが、加藤玄静ガバナーには、ご予定があるにもかかわらずご参加くださり、会員一同大感激致しました。

約7時間の公式訪問でしたが、大変有意義な一日を過ごすことが出来ました。3クラブを代表しまして、厚く御礼申し上げます。有難うございました。



2009. 11. 12

秩父ロータリークラブ

会長 長谷川 茂／幹事 阪本 昇寿

11月24日（火）公式訪問最後から2番目の秩父ロータリークラブ例会場の秩父神社へ加藤ガバナー、武田ガバナー補佐と共に10時45分頃着き会長・幹事と歓談の後に、11時より3年未満（将来の幹部候補）の会員4名と約1時間、ロータリークラブについてのお話を頂きました。

例会では、秩父ロータリークラブ45周年式典、第12回新営扶輪社との姉妹クラブ締結式の様子に感動した事、「今を大事に」のテーマの基ロータリーの現状、会員の退会防止、増強又新入会員に対しての対応についてのアドバイスを受け、今後のロータリークラブがどうなるのか？卓話を頂きました。

クラブ協議会では、各委員から本年度の活動報告と残り半年の活動予定等を発表し、それぞれの委員会にコメントを頂き、和気藹々の内に進み有意義な時間を過ごす事の出来た公式訪問でした。

加藤ガバナーご苦労様でした。



2009. 11. 24

本庄ロータリークラブ

会長 田中 克／幹事 今泉 憲治

54クラブ最後の訪問地、本庄ロータリークラブのガバナー公式訪問は11月28日土曜日に本年度のメイン事業である「みどりの埼玉づくり県民提案事業」（本庄ロータリーの森づくり）と共に始まりました。

12時、森づくりの現地、本庄市五十子「森と泉の公園」で初冬の冷たい風の吹く中、スコップ、バケツなどを手に、ガバナー、ガバナー補佐と共に全会員が植樹を行いました。

続いて13時30分より、県、市、市民団体の関係者を交えて式典を実施した後、埼玉グランドホテルに会場を移し15時より公式訪問例会が始まりました。

例会場ではガバナー、ガバナー補佐が正面に、その向い側に大勢のバスター会長が、そして発表を行うSAA、部門委員長、各小委員長が両横前列に、其の後ろに全会員が着座する形で行われました。卓話ではガバナーとしての苦労話も伺い改めてご苦労の程がしのばれました。又、他クラブや国際ロータリーに関して私たちの知らない話も報告されたりして様

々な角度から有意義なお話しをしていただきました。

クラブ協議会ではそれぞれの委員長が一生懸命に報告し、ガバナー、ガバナー補佐からは熱のこもった有意義な講評を頂きました。

18時から会場を移動して懇親会を行いました。ガバナーの公式訪問の労を、大勢のバスター会長や随行したガバナー補佐、全会員でねぎらい、時間の経過を忘れるほど多いに盛り上がりしました。

加藤玄静ガバナー、武田 哲ガバナー補佐様改めて公式訪問ご苦労様でした。又、地区の為ご活躍ありがとうございます。



2009. 11. 28

お知らせ

第2回 職業奉仕部門セミナー開催

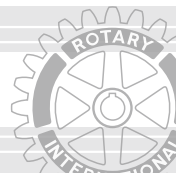
日 時：2010年1月30日(土)

登 録：13：00／点 鐘：13：30／閉 会：17：15

会 場：国立女性教育会館（嵐山町菅谷 728 TEL0493-62-6711）

テーマ：事業経営と職業倫理

米山カウンセラー研修会報告



米山奨学部門委員長 大澤 衛（和光RC）

11月8日（日）東松山「紫雲閣」において、表記の研修会をロータリアン・奨学生69名が集い開催されました。

米山奨学事業は奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援です。当日は、米山奨学生のカウンセラーとなつてからの、様々な問題点や疑問について、地区役員とカウンセラー同士の話し合いを行い有意義な研修会を実施できました。

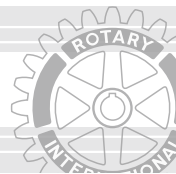


また、奨学生同士の分科会においては、ロータリアンから奉仕の心を学び、地域の祭りや花火大会等各種のイベントへの参加する機会を与えられ、日本の文化・伝統に接することができ、日本に新しい「父母」ができました。一般の奨学生では得られない米山奨学生として体験できたことを感謝しておりますと発表された。

我々、地区役員としても感動あふれる研修会が開催できたことに御礼申し上げます。



秩父祭世界無形文化遺産推進部会発会式



秩父祭世界無形文化遺産推進部会長 三上 一郎（秩父RC）

加藤ガバナーは、今を大事に「ウオッチ・ザ・地域社会」を推進するため、地域の有形、無形遺産を後世に残すための活動を図ろうと述べています。

文化庁は、平成21年5月20日に秩父祭の屋台行事と神楽をユネスコの世界無形民俗文化遺産に提案すると発表をしました。その後世界遺産登録推進委員会の中に秩父祭世界無形文化遺産推進部会の発足の準備を進めて来ました。

去る11月13日秩父祭の原点である秩父神社において、加藤ガバナー、金子千侍、野中広之、パストガバナー、武田哲ガバナー補佐、鈴木秀憲委員長、藺田稔秩父神社宮司様の出席を頂き発会式を行いました。

部会構成は、部会長三上一郎（秩父RC）、委員田中克（本庄RC）、尾関三代司（川本RC）、清水浩一（寄

居RC）、黒澤徳樹（皆野長瀬RC）、浅賀克彦（秩父RC）の各委員に委嘱状が加藤ガバナーより手渡され、また活動方針も採決されて登録に向けての一步が踏み出されました。今後は多くの会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

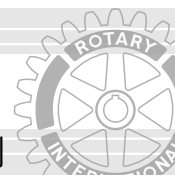
12月3日の秩父祭は三百五十年もの長き間継承されて来ました。秩父祭の豪華絢爛な例大祭に雨の中13名の地区役員の参加を頂き、伝統文化を肌で感じて頂きました。

今後の活動として、平成22年2月28日に「秩父祭の文化遺産を考える」と題してセミナーを秩父市の伝承館にて行いますのでご参加をお待ちしています。

尚、秩父祭の記事がロータリーの友12月号の表紙と34ページに掲載されています。



入間ロータリークラブ50周年記念式典



入間ロータリークラブ会長 細淵 克則

入間RCは今年度50周年を迎えました。皆様方のご理解とご協力に深く感謝し、11月26日に池袋・ホテルメトロポリタンにて50周年記念式典を開催致しました。

ご来賓の皆様及び友好クラブの金浦RC会長幹事、他160名の方々にお集まり頂きました。

細淵克則会長、大野賢次実行委員長の挨拶に続き、記念事業「環境に配慮したLED防犯灯120基設置」、「ポール・ハリス来日の記念植樹（月桂樹）の移植」の報告がありました。またR財団・米山奨学会・入間市社会福祉協議会に寄付金の贈呈、永年に亘り活発な奉仕活動を実践された6名の会員に表彰状の贈呈が行

なわれ、ジョン・ケニーRI会長の賞状を加藤玄静ガバナーより拝受致しました。

祝賀会では山本幸子さんの記念ピアノ演奏の後、石川嘉彦パストガバナーのご発声で乾杯、盛大かつ楽しいひと時を過ごしました。



「高校生感動体験プログラム事業」

実施状況報告と次年度に向けて

社会奉仕プロジェクト部門 環境・緑化委員長 木藤 文雄（坂戸RC）



12月6日（日）午後3時より、埼玉グランドホテル本庄の会議室に於いて、埼玉県教育委員会から協力依頼を受け実施している地区事業「高校生感動体験プログラム事業」の実施状況報告と次年度に向けての対応について話し合いを行った。当日は埼玉県から教育局県立学校部の藤井部長他3名と地区側は加藤ガバナー、西川ガバナーエレクト、鈴木パストガバナー、浅田研修委員長他関係委員が出席した。

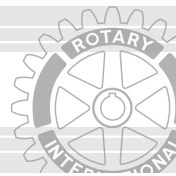
山崎高校生社会体験活動委員長と教育局側からの発表後、活発な意見交換が行われた。4年目に当たる本年は、地区内6校の1013人を464の事業所（内ロータリー事業所166社）が受け入れ、プログラム事業が実施された。この事業は中途退学者を減少させ、社会体験をさせることで健全な高校生を育成することを目指している。この事業により、中途退学者を全体で昨年度比0.95ポイント減少させる成果を上げることがで



きた。今後、この事業をより向上させるには学校側も交えた3者で事業推進する必要があるとの意見が出され、実施の方向性が示された。

意見交換後、藤井部長より西川GEに次年度の「自分発見！高校生感動体験プログラム」の継続に対し、埼玉県教育長の協力依頼書が手渡され、西川GEは次年度も協力する意志表明の挨拶をした。この次年度事業を実施するにあたり、埼玉県教育局と地区担当委員会で協議を行うことになった。

第5グループI.M開催



第5グループガバナー補佐 細井 保雄（行田さくらRC）

第5グループIMは、晩秋の空高く晴れあがる11月23日（月）勤労感謝の日に、行田市ベルヴィアイトピアで加藤玄静ガバナー、行田市長工藤正司様、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、開催することが出来ました。

テーマは「夢・こどもたちに遺すもの」としました。

本年度の地区の重点プログラムの1つが「今を大事にウォッチ・ザ・地域社会」を推進し、地域に貢献しようとあります。それを反映して記念講演は、「さきたま古墳群と世界遺産」ということで埼玉県立さきたま史跡の博物館学芸主任井上尚明様に講演して頂きました。又、「我がまち、まち遺産」ということで第5グループの代表4クラブの皆様と8人のゆるキャラさんに出演して頂き、まち自慢をして頂きました。

8人のユーモラスなゆるキャラさんの出演で楽しいIMとなりました。



第2グループI.M開催



第2グループガバナー補佐 西川 武重郎（志木RC）

第2グループIMは11月29日（日）、志木駅南口近くのベルセゾンにて加藤玄静ガバナーやパストガバナーを始め多くの会員の出席を得て、志木ロータリークラブ主催のもと盛大に開催されました。

挨拶などの後の講演は、加藤ガバナーの「地区重点プログラム」にある「『清流』を取り戻すための第一歩として、河川汚濁の現況を知り、浄化活動の啓蒙運動を推進する。」を受けて、見城美枝子氏の「川が育む地域の文化」を基調講演とし、そのあと「『川の国 埼玉へ』～ふるさとの川を想う～」と題するパネルディスカッションを行いました。

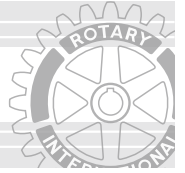
公共団体に頼らない自発的な取り組みの大切さを強く印象付けることになりました。

第2部の懇親会は、読売日本交響楽団OBの

演奏で緊張をほぐした後、鈴木勲二パストガバナーの乾杯で始まりました。地区の懇親を深めつつ恒例の「手に手つないで」を高らかにうたって成功裏にお開きとなりました。



第三回諮問委員会開催



地区幹事 真下 恵司（本庄RC）

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

第三回諮問委員会（12月12日開催）の報告を致します。

諮問事項

- (1)埼玉県主催「高校生体験活動事業」継続について（承認）
- (2)本年度地区大会開催関連について
 - ・RI会長代理決定
第2580地区1991～92年度ガバナー玉村文夫氏
エイド パストガバナー金子 千侍氏
 - ・大会登録料について
クラブの現況を考えて大会登録料は戴かない。
(RI 会長代理晩餐会は 13,000 円)

報告事項

- (1)ガバナー指名委員会より

野中弘之パストガバナー

- (2)第一回ガバナー協議会報告について

真下和男パストガバナー

- (3)日豪青年相互訪問団日程について

- (4)ガバナー公式訪問報告

- (5)「世界平和フェロー」金子由佳さん壮行会開催について 12月23日 於：熊谷

- (6)「入会3年未満会員研修会」開催結果

について 68名参加 11月16日 於：本庄

- (7)さきたま古墳、秩父祭世界無形文化遺産登録支援

参考報告

- (1)2010年1月～6月諸会議・事業予定表

意見交換

- (1)地区内グループ編成について（継続協議）

エクスカーション 【パストガバナー令夫人】

日時：2009年12月12日（土）15：00～17：30

場所：武蔵二ノ宮金鑽神社・豆腐工房【御用蔵】



ヤマキ御用蔵にて



金鑽神社拝殿前にて

西川武重郎ガバナーエレクト 国際協議会壮行会

日時：2009年12月12日（土）

18：00～20：00

場所：埼玉グランドホテル本庄

【国際協議会】

日時：2010年1月17日（日）～24日（日）

場所：サンディエゴ（米国）



表彰

米山功労者
(11 回目)



西川 武重郎
(志木 RC)

米山功労者
(5 回目)



橋本 敬一
(朝霞 RC)

米山功労者
(1 回目)



堀田 博明
(朝霞 RC)

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



永井 彥男
(新座こぶし RC)

新入会員のご紹介

永 沼 浩 幸



ク ラ ブ 名：行田さくらRC
入会年月日：2009年6月9日
勤 務 先：永沼浩幸土地家屋調査事務所
職 業 分 類：土地家屋調査士
生 年 月 日：1956年12月19日

大 谷 文 孝



ク ラ ブ 名：行田さくらRC
入会年月日：2009年7月28日
勤 務 先：(株)メンズオータニ
職 業 分 類：繊維製品卸売
生 年 月 日：1967年2月15日

時 田 忠 彦



ク ラ ブ 名：行田さくらRC
入会年月日：2009年10月20日
勤 務 先：南トキヤセブンイレブン行田向町店
職 業 分 類：コンビニエンスストア
生 年 月 日：1955年7月6日

永 島 祐 照



ク ラ ブ 名：深谷東RC
入会年月日：2009年11月6日
勤 務 先：瑠璃光寺
職 業 分 類：宗教
生 年 月 日：1964年1月25日

今月の表紙



旧本庄警察署（現本庄市歴史資料館）

この資料館は、明治16年（1883）本庄宿で最初の洋館として作られた本庄警察署で、木造二階建て瓦葺き、しっくい塗り大壁造りで正面二階の洋風ベランダにはコリント式の列柱が配されていますが、柱の上部にアカンサスの葉を彫刻したモダンな意匠が採用されています。昭和10年、警察署は移転し、その跡を裁判所・消防本部・区検察庁・公民館・図書館などに利用され多少の改造もされましたが昭和55年11月に建築当初に近い状態に修復し市立歴史資料館として開館今日に及んでいます。昭和47年県の有形文化財に指定されました。

1月のスケジュール		
1	金	元日 ガバナー事務所 冬期休業
2	土	〃
3	日	〃
4	月	〃
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	日豪相互訪問ウェルカムパーティー
10	日	青少年交換第4回オリエンテーション
11	月	成人の日 〃
12	火	西川年度ガバナー補佐・部門委員長会議
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	米山記念奨学生選考面接試験
17	日	国際協議会【西川年度】
18	月	〃
19	火	〃
20	水	〃
21	木	〃
22	金	〃 / 日豪相互訪問フェアウェルパーティー
23	土	〃 / ブライダルパーティー（北坂戸オルモ）
24	日	〃
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	第2回職業奉仕セミナー
31	日	

2月のスケジュール		
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	第4G 会長・幹事会
5	金	
6	土	
7	日	第2回R財団セミナー
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	建国記念の日 インターアクト次期指導者研修会
12	金	
13	土	第3G IM
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	第4G IM
20	土	R財団第3回オリエンテーション／ブライダル相談会
21	日	第2回クラブ奉仕部門セミナー
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	P E T S
28	日	秩父祭世界無形文化遺産推進部会／米山奨学生歓送会

文 庫 通 信 (267号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2008～2009年度会計報告

(貸借対照表)	資 産		負 債	
現 金		42,120	社会保険料預り金	153,202
普通預金		8,234,480	雇用保険料預り金	46,162
定期預金		0	負債合計	199,364
現預金合計		8,276,600	正 味 財 産	
仮 払 金		376,380	次期繰越剰余金	8,453,616
合 計		8,652,980	合 計	8,652,980

(収支計算書)	収 入		支 出	
会費収入		23,296,150	委員会費	1,398,642
雑 収 入		135,137	業 務 費	9,419,017
			賃貸管理費	9,472,613
			人 件 費	7,651,068
			予 備 費	0
当期合計		23,431,287	当期合計	27,941,340
前期繰越収支差額		12,963,669	当期収支差額	△ 4,510,053
収入合計		36,394,956	次期繰越収支差額	8,453,616

【ロータリー文庫】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL : 03-3433-6456 FAX : 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 ■開館 午前10時～午後5時 ■休館 土・日・祝祭日



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570

11 月度 出席及び会員数報告

第1グループ (11RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	11月 末	11月 入会数	11月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	11月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
川 越	3	80.72	82.08	87	90	0	0	5	2	0	3	0
東 松 山	3	75.74	78.57	37	37	0	0	0	0	0	0	1
小 川	3	83.00	80.47	11	11	0	0	0	0	0	0	1
坂 戸	4	82.92	84.04	25	25	0	0	0	0	0	0	0
越生毛呂	4	73.10	76.40	28	27	0	0	0	1	0	-1	1
川越小江戸	4	95.33	96.13	22	21	0	1	0	1	-1	-1	0
川 越 西	4	73.83	82.07	20	20	0	0	1	1	0	0	1
鶴ヶ島	4	80.00	84.60	29	31	0	0	2	0	0	2	4
川越中央	4	78.31	74.63	35	33	0	1	0	2	-1	-2	0
坂戸さつき	4	70.45	81.20	21	22	0	0	1	0	0	1	5
東松山むさし	4	79.57	78.19	32	33	0	0	1	0	0	1	2
合 計		79.36	81.67	347	350	0	2	10	7	-2	3	15

第4グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	11月 末	11月 入会数	11月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	11月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
深 谷	3	86.60	86.48	64	64	0	0	1	1	0	0	8
本 庄	4	90.38	92.06	65	70	1	0	5	0	1	5	6
秩 父	3	81.60	83.62	52	53	0	0	1	0	0	1	0
寄 居	4	77.70	83.55	37	37	0	0	0	0	0	0	1
児 玉	3	52.62	56.13	19	19	0	0	0	0	0	0	0
岡 部	3	82.60	78.28	22	22	0	0	0	0	0	0	2
深 谷 東	4	70.02	70.64	65	66	1	0	1	0	1	1	0
上 里	3	91.60	95.82	7	8	0	0	1	0	0	1	0
川 本	3	80.00	90.80	17	16	0	1	0	1	-1	-1	0
皆野・長瀬	4	93.80	90.74	17	17	0	0	0	0	0	0	3
本 庄 南	4	69.77	73.51	21	24	0	0	3	0	0	3	0
深谷ノース	4	75.00	77.28	37	38	0	0	1	0	0	1	0
合 計		79.31	81.58	423	434	2	1	13	2	1	11	20

第2グループ (9RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	11月 末	11月 入会数	11月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	11月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
朝 霞	3	100.00	100.00	35	34	0	0	0	1	0	-1	0
ふじみ野	4	96.77	89.50	17	17	0	0	0	0	0	0	0
志 木	4	92.51	91.21	48	50	0	0	2	0	0	2	0
富 士 見	4	89.87	86.38	46	46	0	0	0	0	0	0	0
新 座	4	64.51	82.00	33	31	0	0	0	2	0	-2	3
和 光	4	94.74	91.50	21	20	0	1	0	1	-1	-1	0
朝霞キャロット	3	91.67	88.84	12	12	0	0	0	0	0	0	0
志木柳瀬川	4	95.90	94.30	14	14	0	0	0	0	0	0	6
新座こぶし	4	95.31	95.29	16	16	0	0	0	0	0	0	3
合 計		91.25	91.00	242	240	0	1	2	4	-1	-2	12

第5グループ (10RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	11月 末	11月 入会数	11月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	11月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
熊 谷	5	89.27	83.37	89	93	0	0	4	0	0	4	3
行 田	4	77.95	71.24	55	55	0	0	0	0	0	0	1
羽 生	2	100.00	84.16	36	35	0	0	0	1	0	-1	2
加 須	4	92.29	89.76	39	39	0	0	0	0	0	0	1
熊 谷 西	4	76.73	70.48	26	27	0	0	2	1	0	1	1
行田さくら	3	85.80	79.97	39	41	0	0	2	0	0	2	0
熊 谷 東	4	92.19	93.55	31	32	0	0	1	0	0	1	2
吹 上	3	75.00	84.64	15	16	0	0	1	0	0	1	0
熊谷龍原	4	97.03	95.49	27	28	0	0	1	0	0	1	0
熊 谷 南	4	52.80	60.04	26	27	0	0	1	0	0	1	2
合 計		83.91	81.27	383	393	0	0	12	2	0	10	12

第3グループ (12RC)

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								
		当月	通算	年初 (7/1)	11月 末	11月 入会数	11月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	11月度 純増数	本年度 純増数	女性 会員
入 間	4	87.00	83.59	43	43	0	0	0	0	0	0	1
所 沢	3	88.14	84.94	65	65	0	0	0	0	0	0	4
飯 能	4	90.20	88.01	62	63	0	0	1	0	0	1	1
狭 山	4	94.56	98.48	24	23	0	0	0	1	0	-1	1
新 所 沢	3	73.82	84.45	33	32	0	1	0	1	-1	-1	2
日 高	3	88.33	86.17	24	24	0	0	0	0	0	0	4
所 沢 西	4	95.60	93.24	44	45	0	0	1	0	0	1	1
新 狭 山	4	95.08	93.55	25	26	0	0	1	0	0	1	0
所 沢 東	4	92.10	91.85	36	38	0	0	2	0	0	2	3
入 間 南	2	66.07	81.11	35	35	0	0	0	0	0	0	0
所 沢 中央	4	93.00	91.32	37	38	0	0	1	0	0	1	0
狭 山 中央	3	78.58	85.41	33	33	0	0	2	2	0	0	5
合 計		86.87	88.51	461	465	0	1	8	4	-1	4	22

総グループの合計 (54RC)

出席率 (%)		上段・54クラブ会員数 (人) / 下段・女性会員数										
当月	通算	年初 (7/1)	11月 末	11月 入会数	11月 退会者	本年度 入会数	本年度 退会者	11月度 純増数	本年度 純増数			
		1856	1882	2	5	45	19	-3	26			
83.84	84.65	79	81	0	0	2	0	0	2			

